



関市板取の「杉杉」



■会 長 加藤照彦 ■副会長 西田泰幸 ■幹 事 伊佐治啓司



関市民 1000 人が参加して創りあげた
シャインカービンアード「関二鳥」

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーテーマ
『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』 SERVE TO CHANGE LIVES
RI 会長：シェカール・メータ

関ロータリークラブ会長テーマ
『和衷協同』 56 代会長：加藤照彦



本日のプログラム

第 2615 回例会 2021 年 12 月 7 日 (火)

「和～自己成長とものづくり～」

関青年会議所 理事長 田中雄貴様

前例会の記録

第 2614 回例会 11 月 30 日 (火) 12 : 30

「出席表彰・記念品贈呈」

「東海北陸道グループ IM の報告」林昇会員

◆開会点鐘

◆会長挨拶



今年も残すところ 1 ヶ月となりました。明日から師走に入ります。師走とは、「僧侶のような普段落ちついている人でも、この月は多忙で走り回る」というのがルーツの言葉らしいのですが、師走と聞くだけで気持ちが忙しくなります。

後程、林昇さんより素晴らしい報告があると思いますが、11 月 28 日に IM が美濃クラブの担当で盛大に開催され、次年度開催担当クラブとして挨拶をさせて頂きました。次は関ロータリークラブ担当になることをお伝えしておきます。林さん、来年に向けての報告を宜しくお願い致します。

さて、ロータリーの基本に「利他の精神」があります。人は、利他的な人として「思いやりがある」「誠実である」「信頼できる」ということを無意識に感じ取るという研究を名古屋工業大学で行っています。簡単な一例として次のようなものがあります。69 人の被験者に自分自身の利他的行動のアンケートを取ります。例えば、

①私は組織の一員として、自分の仕事でなくても

ゴミ捨てや掃除を進んで行います。

②仲間に仕事をこなせない人がいた時は、積極的に手を貸します。

③見知らぬ人が道で転んだ、あるいは転びそうになった時は、助けます。

などです。このアンケート結果でポイントが高かった上位 6 人（最も利他的な人）と下位 4 人を選び、動画撮影に協力してもらいます。撮影内容は、各自がどんなことが好きか嫌いかを自然な会話の中で語ってもらいます。この動画を別の被験者に見てもらい、信頼できる人かどうかを判断してもらいます。判断方法は、動画 1 本につき 300 円が被験者に渡され、出演者が信頼できる人だと思った場合は、300 円を渡して困っている人への寄付を委託します。信頼できない人だと思った場合は、100 円を被験者が貰い 200 円は返金します。

このような方法で行うのは、被験者にとって「100 円を貰わなくてもいいと思うような信頼できる人を選ぶだろう」という人の心理を考慮しての事です。信頼できると選ばれた人には 1 ポイントが付く、最終的にポイントの合計が高い人ほど信頼度が高いと判断します。この結果、利他的な 6 人は、利他的でない 4 人よりも信頼度の平均が 16% 以上も高くなりました。このことから、人は何気ないしぐさから相手の信頼度を判断していることがわかります。普段から「利他的」なふるまいをしている人が信頼を得やすいのです。私たちは、習慣になっているしぐさや、そこから得られる印象で相手が利他的かどうかを無意識に判断しています。一時的な言葉や振る舞いでは、効果はないということが科学的に検証されています。たとえ自分が損しても人を信じていく。その中で信頼関係が生まれます。信頼とは、外に求めるのでは

なく、自らの心の内に求めるべきものではないでしょうか。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 秋柄達也会員

会員 48 名中 出席 22 名 出席率 45.84%

◎ニコボックス委員会 委員長 酒向徳享会員

会長・副会長・幹事の皆さん・・・出席表彰の皆様おめでとうございます。一昨日の IM に参加いただきました皆様、本当にお疲れ様でした。本日は、林昇さんに「東海北陸道グループ IM の報告」をしていただきます。林昇さんよろしくお願いたします。

林昇会員・・・先日の 11 月 28 日に国際ロータリー第 2630 地区東海北陸道グループ インターシティミーティングに参加してまいりましたので、報告をさせていただきます。大変、内容の濃いお話でしたが精一杯報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

東谷好司会員・大澤竜一会員・長尾一郎会員・栗倉晋吾会員・古田貴巳会員・酒向徳享会員・三輪雄彦会員・山田一成会員・秋柄達也会員・・・本日、インターシティミーティングの報告、話昇さんしっかりとお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。出席表彰の皆様、おめでとうございます。

林隆一会員・・・出席表彰ありがとうございます。これからも続けたいと思っています。IM に出席された皆さんご苦労様でした。発表の林昇さんよろしくお願いいたします。

亀井高利会員・・・(2P)

◆「東海北陸道グループ IM の報告」林昇会員



先日の 12 月 28 日に 2021～2022 年度国際ロータリー第 2630 地区東海北陸道グループ インターシティミーティングに参加してまいりましたので、報告をさせていただきます。当日は天候に恵まれ、会場も

近く開催時間もお昼からの為、加藤パスト会長と古田会長エレクトと三人で美濃市のソウルフードを堪能してから会場入りとなりました。(ちなみに更科の中華そばと末広堂のモナカアイス) 場所は旧美濃病院、美濃市健康文化交流センター(みのエネプラザ)にて行われました。みのエネプラザは、今年の 3 月に完成し、そののちコロナ集団接種会場の役割を担っていた施設で、駐車場も広く玄関にはモニタータイプの検温設備が常

設してありました。当クラブの参加者は 17 名で、久々の東海北陸道グループの集合に見覚えのあるメンバーに懐かしさを感じました。定刻の 14 時に村下ガバナー補佐の点鐘で始まり、国家斉唱に続きロータリーソングを小さな声でと司会者からの言葉にコロナ過を意識した瞬間がありました。村下ガバナー補佐の開会の挨拶に続きホストクラブの美濃ロータリークラブ土本会長の歓迎の挨拶に続き来賓紹介の後にクラブ紹介に移りましたが、以前なら大きなお声で手を挙げて応えていましたが、どんなリアクションで応えて良いか?戸惑い立ち上がる事が出来ませんでした。まだまだ、自分も含めメンバーがこういったシチュレーションまだ慣れていないと感じました。講演の講師は江崎よしひで氏、プロフィールを紹介します。岐阜県旧美山町出身、東京大学教養学部教養学科国際関係論卒業、平成元年通産省に入省。ご存知と思いますが、今年一月に岐阜県知事に立候補されましたが、残念な結果となりました。現在のお仕事は社会政策課題研究所 所長となっております。講演のタイトルは「人生 100 年時代の幸せにかたち～コロナの先にある健康長寿社会の実現～」最初はコロナ対策についてのお話でした。コロナウイルスの性質を正しく理解して正しく恐れる事が大切である事を分かりやすくパワーポイントを使いイラストやグラフを用いて説明して頂きました。最も効果的な予防は免疫力を高める行動を心掛ける事が必要と学びました。続いて、人生 100 年時代の意味について話されました。誰もが健康で長生きする事を望み、それが可能ならば社会は必然的に高齢化することをグラフを使い説明されました。そこで、高齢化を対策するのではなく、与えられた時間を如何に楽しく健康に生きるか。二周目の人生における幸せのかたちを見つける事が大切と話されました。今後の自分の人生も考える良い機会を頂きました。続いて、SDGs 持続可能な開発目標に話は移り、SDGs とは、から始まりました。皆さんご存知と思いますが、世界は、貧困、人種差別、環境破壊など様々な課題に直面しており、こうした地球規模の問題を解決するために、誰一人取り残さないという共通理念のもと国連加盟国 193 か国が 2030 年までに達成を目指す国際目標の事で、17 の目標に分かれています。その 17 をまた五つの P に、人間 ピープル 貧困と飢餓をなくし健康で平等な生活を豊かさ プロスペラティ 経済的な豊かさと安心できる社会を地球 プラネット自

然と共存し、地球環境を守る取り組みを平和ピース平和で公平な社会パートナーシップ世界が協力し合う関係を、そこで、なぜ、世界はSDGsを求めるのか？耐え難い格差の発生。最富裕層2153人は最貧困層46億人よりも多くの財産を保有しており、46億人は世界人口に60%超に相当するとのことでした。大変驚きました。貧困と飢餓をなくし健康で平等な生活を求める事は当然。と思わず、うなずいてしまいました。そして、地球規模での課題の発生。温暖化による災害が全世界的に発生、海洋プラスチック問題など全世界で取り組む必要がある。持続可能とは、環境を守り全ての人の人権を尊重しながら経済成長を実現すること環境保護、社会的包摂（障がい者、高齢者など社会的立場の弱い人が排除されず力を発揮する）経済開発3つを合わせて持続可能な開発を目指している。里山資本主義といい、日本の価値観（信頼性に基づく分かち合いの価値観や三方よしの考え方）ロータリークラブの職業奉仕とも相通ずるものと思いました。そこで、日本のSDGs達成度は15位で中でも教育は数学が第一位、科学は二位と大変、質の高い教育を達成しているとの事でした。ところが、諸外国との新たに時代を作る人材としてのアンケートからは自分を大人と思う29.1%自分は責任ある社会の一員だと思う44.8%将来の夢を持っている60.1%自分で国や社会を変えられると思う18.3%自分の国に解決したい社会課題が有る46.4%社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している27.2%諸外国に比べると、将来の夢を持っているでは、ほとんどの国が90%以上の回答で、今の社会環境に満足していない事がアンケートからよみとれますが、我が日本では、経済的な豊かさは手に入れたがしかし幸せと感じていないのではなかと推測される。学力は世界トップクラスだが自分では国や社会を変えられると思っていない。本当の豊かさ・幸せを手に入れられるか？新たに時代を作る人材を生み出せるか？が課題と江崎さんはのべていました。そこで、岐阜県を変えたい。岐阜県を面白いと言わせたい。既存の文化を基に新たな取り組みを始め、地域の人たちとモウクワクする取り組みやまた訪れたいと思わせる魅力、いつかは住んでみたいと思わせる何かを。まだまだ、この後、岐阜県の魅力についておはなしされましたが、まとめ切る事が出来ませんでしたので、次の機会に江崎さんの講演をぜひ、聞いて頂きたいと思ひましたし、江崎さんの岐阜県に対する思いを語る姿



を見て近い将来きっと実現して頂けるじゃないかと思ひました。人生100年時代と言われる今を如何に最期まで幸せに生きるかが重要であり、高齢社会に対する認識を改めるとともに誰もが、それぞれの年齢や体力に応じて社会の一員として役割を果たす事が出来る生涯現役社会になる必要性を訴える内容でした。全てを皆さまに、お伝えしたかったのですが、不十分な報告となりましたがお許しください。以上、IMの報告とさせていただきます。

◆29年皆出席表彰 林隆一会員



◆幹事報告

◎例会終了後「指名委員会」開催

◎12月の例会予定表配布

◆12月ゴルフ会

日時：12月5日（日）

8：22スタート

場所：シーダヒルズC.C

優勝：伊佐治啓司会員



次例会のご案内 12月11日(土) 17:00
「チャリティクリスマス家族例会」
於：みの観光ホテル